

第 12 回災害支援訓練

実施報告書

広域一般廃棄物事業協同組合

第 12 回災害支援訓練実施報告書 広域一般廃棄物事業協同組合

日 時：平成 28 年 10 月 22 日（土）9：00～12：10

場 所：①集合場所…小田原市諏訪原（トレープラスチック減容施設の隣り）

②派遣場所…広域避難所となる前羽小学校、下中小学校、下曾我小学校、曾我小学校、下府中小学校、国府津小学校、酒匂小学校、富士見小学校、矢作小学校、豊川小学校、千代小学校、久野小学校、大窪小学校、早川小学校、三の丸小学校、町田小学校、山王小学校、新玉小学校、桜井小学校、報徳小学校、東富水小学校、芦子小学校、足柄小学校、富水小学校、片浦小学校の 25 箇所

参加者：小田原市 3 名、オリックス資源循環(株) 1 名、広域一般廃棄物事業協同組合 38 名

趣 旨：災害時における一般廃棄物災害収集に関する協定を締結している中で、災害が発生した際にスムーズな対応ができるかどうかを確認し、かつ、災害応急対策に対する相互理解を深める。

想 定：平成 28 年 10 月 21 日（金）15 時に発生した地震（震度 7）の影響により、小田原市が被災し、市内の避難所設置による仮設トイレの汲取りと臨時ステーションのごみ収集、震災ごみ増加・道路事情悪化により家庭ごみの収集・運搬に支障をきたしているという想定のもと、災害応急対策を行う。

概 要：緊急連絡網による連絡訓練、応援要請から参集訓練、避難所への派遣訓練までを行う。

内 容：昨年 9 月に実施した組立式仮設トイレの設置に係る実地調査に基づき、仮設トイレの適正設置場所として提案した場所に仮設トイレが設置されているものと仮定して、作業車両で現場に行き確認をする。

また、災害時は現場での連携が重要と考え、広域避難所に配置されている市の配備職員と連携をとる訓練を行う。

主な使用機材：

- ①バキューム車 12 台
- ②仮設トイレ運搬車 3 台
- ③仮設テント（3m×3m）1 張
- ④音響設備（ポータブルワイヤレスマイク）1 機
- ⑤白板 1 枚
- ⑥非常食セット 32 個
- ⑦地図（道路地図、明細地図）
- ⑧机 1 枚
- ⑨椅子 3 脚

備 考：

タイムテーブル

10月21日（金）

- 15:00 小田原市に震度7の地震発生。
- 15:20 小田原市環境部からの応援要請に基づき、組合員へ応援要請。
- 16:00 組合の支援体制を小田原市に連絡。

10月22日（土）

- 9:00 全派遣班、集合場所に到着（小田原市諏訪原 トレープラスチック減容施設横）
司会進行 浅田統括
開会挨拶 加藤副理事長
参加者紹介
訓練行程説明
小田原市から応援要請の内容説明
 - ・市内25箇所の広域避難所設置とそれに伴う仮設トイレ汲取り、ごみ収集及び仮設トイレ設置班編成（2班体制とする。第1班を高橋班長、第2班を勝俣班長が担当）
責任者会議（浅田統括、高橋班長、勝俣班長、小田原衛生担当者）
班別ミーティング
 - ・市内状況説明
 - ・運行計画作成、作業指示
- 9:25 作業チームごとに広域避難所へ移動
- ～11:30 進入路の確認、仮設トイレ設置場所の確認、配備職員へ報告
- 11:35 訓練終了式
班別に派遣訓練結果を報告
視察コメント オリックス資源循環(株) 漆原課長代理
講評 鈴木理事長
関係機関挨拶 小田原市環境部 和田部長
- 12:30 訓練場所清掃、後片付け
解散

現地案内図

小田原市諏訪原地内



現地災害対策本部

訓練状況

開 会



環境部から指令を受ける



第1班ミーティング



訓練状況

第2班ミーティング



災害支援車両

バキューム車 12 台
仮設トイレ運搬車 3
台



広域避難所に向けて
順次出動



訓練状況

広域避難所に到着し、自治会の訓練を視察



排水を流すマンホールを確認



配備職員に報告



訓練状況

アンケート調査に協力いただいた



訓練終了式

派遣班ごとに状況を報告した



環境部長から挨拶を頂いた



神 静 民 報

21年5月1日第3種郵便物認可・特別承認新聞紙第87号



避難所のトイレ対応訓練 広域廃棄物事業協組が

小田原で

県西部を中心に3市 業協同組合（鈴木茂理 10町のごみ処理、し尿 事務局長、事務局長小田原市 市職員約40人が参加 処理の民間業者で構成「寿町」は22日、災害支 する広域一般廃棄物事 探訓練を実施した。今

避難所巡回を前に、訓練想定や内容を確認する組合員ら

同組合では市からの 協力要請を受け、仮設 トイレの汲み取りや臨 時ごみステーションの 対応に当たった。避難 所に向かう際は道路 状況や倒壊家屋の被害 情報収集も依頼され た。 組合員らはグループ に分かれ、割り振られ た小学校に向けてパキ

ュームカーやバックカー 中へ出勤。実際に現場 を回り、仮設トイレが 設置されていることを 想定して災害時にも確 実な収集作業ができる かと確かめた。

同組合では昨年9 月、仮設トイレの設置 や汲み取り作業条件、 避難者の生活面を考慮 し、小学校ごとに適切 なポイントを調査。市 に提案し、避難所を設 営する自治会らに伝わ っているという。

実際の被災地派遣経 験者からは、設置はし たが夜は真っ暗で女性 や子供が行けない、汲 み取り作業車が付近ま で近づけないなどのケ ースが多くあったとい う。

訓練には、被災者か らトイレに関するス トレスだけでも取り 除きたい、衛生面を整 え感染症などを防ぎた いとの思いが込められ ている。

訓練は、各小学校の 位置を再度確認するこ とも目的。組合には市 外の業者も入ってお り、有事の際に道に迷 ったことなく迅速に現場 に到着し、作業を始め られるよう道順も確認 した。

避難所巡回後、参加 者は市環境事業センタ ーに集まり、訓練で改 めて気がついた点など を報告して共有。震災 ごみ処理、し尿処理に 特化した災害時対応訓 練を継続して実施。毎 回テーマを設けて、切

訓練は前日午後、震 度7の地震が同市で発 生し、被害が起きたと 想定。公立小学校が方 所に設置された広域難 所には被災者が集まっ た状況。

同組合では市からの 協力要請を受け、仮設 トイレの汲み取りや臨 時ごみステーションの 対応に当たった。避難 所に向かう際は道路 状況や倒壊家屋の被害 情報収集も依頼され た。

組合員らはグループ に分かれ、割り振られ た小学校に向けてパキ

訓練には、被災者か らトイレに関するス トレスだけでも取り 除きたい、衛生面を整 え感染症などを防ぎた いとの思いが込められ ている。

訓練は、各小学校の 位置を再度確認するこ とも目的。組合には市 外の業者も入ってお り、有事の際に道に迷 ったことなく迅速に現場 に到着し、作業を始め られるよう道順も確認 した。

避難所巡回後、参加 者は市環境事業センタ ーに集まり、訓練で改 めて気がついた点など を報告して共有。震災 ごみ処理、し尿処理に 特化した災害時対応訓 練を継続して実施。毎 回テーマを設けて、切

避難所のトイレ・ゴミ処理問題に備え 避難支援訓練を実施

県西部のゴミ収集・廃棄物処理業者の組織「広域一般廃棄物事業協同組合」（鈴木茂理事長）と小田原市による合同災害支援訓練が10月22日に実施された。この訓練は、大地震などの災害時、避難所で想定されるトイレやゴミの問題に対処するもの。



▲バキューム車や仮設トイレ
運輸車で各避難所へ

12回目となる今回は、県西部や葉山、海老名から13社が参加。班に分かれ市内の広域避難所（小学校25カ所）に赴き、進入経路の確認のほか、避難所の運営に携わる自治会の住民に仮設トイレやゴミ収集所の設置場所について確認を行なった。「大きな災害に備え、今後もさらに市や運営自治組織とも情報連携が必要。また、特に避難所のトイレは被災者の健康を保つため、様々なケースに対応できるようテーマを絞った提案を行なっていきたい」と鈴木理事長。



▲派遣訓練終了後の報告会